

適用問題

1年 「かたちあそび」(3/5)

(1) 目標・評価規準

本時の目標	箱など身の回りの具体物から、形を抽象し、立体図形の特徴をまとめる。
本時の評価規準	<p>【考】色や大きさ、位置、材質などの属性を捨象して形に着目し、特徴や機能を言葉や具体物を用いて表現している。</p> <p>【技】身の回りにあるものの形について、概形や特徴から分類することができる。</p>

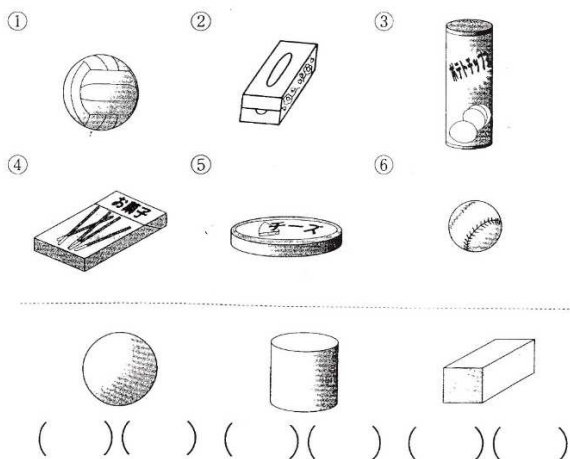
(2) 展開

	学習活動	主な発問 (○) と 予想される児童の反応 (・)	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点 (・) 対話 (○) 振り返り (※)
導 入 5 分	<p>1 学習課題をつかむ。 ・前時に使った材料の片付け方を見て、本時の課題をとらえる。</p> <p>2 めあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">にているかたちのわけかたをかんがえよう。</p>	<p>○ダンボール箱の中を見てどう思いますか。</p> <p>・いっぱいある。</p> <p>・ぐちゃぐちゃ。</p> <p>○次に使うときのために、どうしたらいいだろう。</p> <p>・きれいに片付ける。</p> <p>・ちゃんと分ける</p>		<p>・段ボール箱の材料を見せ、仲間に分けて片付けられればいいことに気付かせる。</p>
展 開 2 5 分	<p>3 材料の仲間分けをする。 グループ討議</p> <p>4 それぞれの考えを発表しあう。 全体討議</p>	<p>○積み木と似ている形に分けましょう。分けた理由も話し合ひましょう。</p> <p>・これはころころ転がる。ボールみたい。</p> <p>・これは円いところがある。上に積める。</p> <p>・これはさいころみたい。同じ四角ばかり。</p> <p>・これは長四角がある。</p> <p>・平らなところがない。</p> <p>○どうしてそのように分けたのかな。その理由もいひましょう。</p> <p>・転がる。平らなところと丸いところがある。</p> <p>・転がる。平らなところがない。</p> <p>・全部平ら。四角。積める。転がらない。</p> <p>・全部平ら。全部真四角。積める。転がらない。</p>	<p>【考】色や大きさ、位置、材質などの属性を捨象して形に着目し、特徴や機能を言葉や具体物を用いて表現している。 (観察 発言)</p>	<p>・具体物に触れながら、色や大きさではなく、転がる、積める、平らなところの形等に着目させる。</p> <p>・分け方の理由をワークシートに書かせる</p> <p>・機能面に着目した考えの場合は、実際に操作して確かめる。</p>

	5 分けた仲間の形に名前をつける。	○分けた仲間の名前をつけよう。 「つつのかたち」「ボールのかたち」 「さいころのかたち」「はこのかたち」		・児童の言葉で表現され、形がイメージしやすいものを形の名前とする。
ま と め 1 5 分	5 学習したことをまとめる。	いろや大きさなどがちがっていても、なかまわけができる。 はこのかたち さいころのかたち つつのかたち ボールのかたち		
	6 適用問題をする。	(いろいろな形の中から一人に1個ずつ持たせる。) ○箱の形を持っている人は、前に置きましょう。 ○次はチャレンジ問題を解いてみましょう。	【技】身の回りにあるものの形について、概形や特徴から分類することができる。 (観察 発言 ワークシート)	・間違えた児童がいたときにはわけを考えさせる。
	7 振り返りをする。(発表)	○今日の勉強を振り返ろう。		※時間があれば算数日記を書かせ発表し合う

チャレンジもんだい

★()にばんごうを入れて、なかまわけをしましょう。



(4) 授業を終えて

○展開はグループでの活動だったので、適用問題では個人での活動の場を設定した。自信をもって意欲的に取り組む姿が見られた。

○適用問題①で、長方形と正方形はこの形を持った児童が、はこの形かつつの形かで迷う場面が見られたが、プリントではスムーズに分けることができていた。

●短時間でできていたので、さいころの形を加えて問題数を増やしても良かった。